

製品名: AXIN1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81858**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:50-1:250,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.6kDa

抗原情報

遺伝子名	AXIN1
別名	AXIN; PPP1R49
遺伝子 ID	8312.0
SwissProt ID	O15169
免疫原	大腸菌で発現したヒト AXIN1 (AA: 546-752) の精製された組み換え断片。

背景

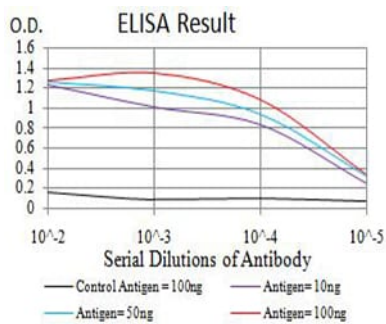
この遺伝子は、G タンパク質シグナル伝達調節 (RGS) ドメインとディズベルド・アキシン (DIX) ドメインを含む細胞質タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、大腸腺腫症性ポリポーシス、カテニン β -1、グリコーゲン合成酵素キナーゼ

3β、タンパク質リン酸 2、そして自身と相互作用します。このタンパク質は、wingless 型 MMTV 統合部位ファミリーメンバー 1 (WNT) シグナル伝達経路の負の調節因子として機能し、アポトーシスを誘導することができます。このタンパク質の一部は、単独および他のタンパク質との複合体として結晶構造が解明されています。この遺伝子の変異は、肝細胞癌、肝芽腫、卵巣子宮内膜腺癌、および髄芽腫と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

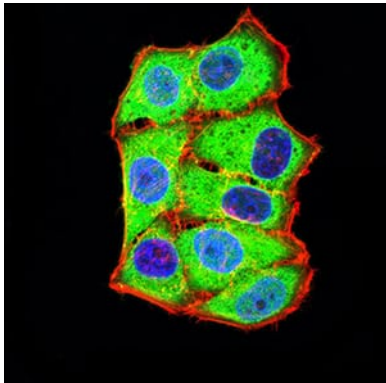
研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路

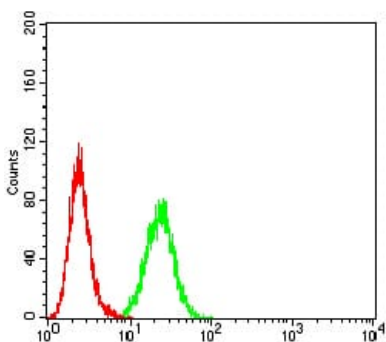
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



AXIN1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



AXIN1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。